



# 若い 群像

「農家のみなさん、農協からお知らせの時間です…」さわやかな声が今日も谷間から谷間へ流れる。

次木京子さんは、幌糠農協に勤務する電話交換嬢さんです。

交換のかたわらに、農家へお知らせをする有線放送のマイクに向かってもう2年近くになる。

「始めの頃は顔が見えるわけではないのに恥ずくって…今はもう平気ですけど」と笑う。この有線放送を受けている農家は全部で370戸近くが、1日3回の放送に耳をかたむける。

農家の人にとっては大切な情報源でもある。

お知らせの他、災害、霜など農家への注意など、その広範囲にわたって有線放送が活用されている。

広報

とと

'72 7 月号  
第172号